



2011. 1. 25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムズ1月号

★新年おめでとう御座います。

新しい年の希望、喜びと共に、神戸はどうしてもあの震災の記憶がオーバーラップする新春ですが、15年という節目も終り、いよいよ新しい段階に進む年です。

昨年街が受賞しました「文化活動功労賞」は、私達が被災後進めて参りました情緒性を織り込んだ街創り、「プレミアムストリート」への一里塚になったと思っています。

今夏には西入口に元沖縄芸芸大学長の大嶺實清先生から送られた「ホワイトカナイ」像が収蔵され、東の「ブルーライ」像と共にその風格、威厳が、街の守り神としての役割を荷ってくれます。今年も「街衆」の力を結集し、健康で気持ちの良い街創りを目指して参ります。

何卒宜しく願い申し上げます。

★「美ら島沖縄大使」に任命されました。

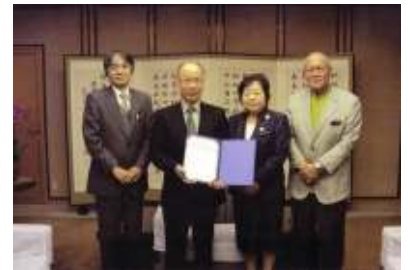
沖縄との絆が又、深くなりました。

この度、久利理事長が「美ら島沖縄大使」に任命され、1月19日沖縄県庁で認証式が有りました。

シンリョウ

いつもTV等でお馴染みの万国津梁銘文屏風が置かれた県庁知事室で多くの報道陣の取材を受ける中、安里副知事より認証状を授与されました。

当日のTVニュース等でも早速報じられましたので理事長のもとには早速お祝いの電話が殺到したようです。全国各地でタイガーマスクのニュースが流れる中、私達の街が進める「夢、未来号プロジェクト」も大きく評価され、ますます沖縄との御縁が強くなって行く事が嬉しいですね。



★気持ちも新たに、2丁目新年会が行われました。

2011年1月11日(火)、2丁目恒例の祝賀交歓会が神仙閣で開催されました。

松谷副理事長の手際の良い司会進行の許、久利理事長のご挨拶があり、2丁目のこれから進んでいく方向を説明していただきました。新しくご参加いただいたご来賓の竹村クリニック院長竹村先生からも御祝辞をいただき、西尾部長の元気な乾杯の発声で新年会がはじまりました。神仙閣の豪華で贅沢なお料理をたくさんいただき、皆様楽しく時の経つのも忘れて歓談しました。



★これで安心! 2丁目のホームドクターです。

このたび2丁目振興組合の産業医をサンプラザ3階の竹村クリニックの竹村俊哉 院長にお願い致しました。神戸大学医学部を卒業後高知医療センター副院長、公立穴栗総合病院医長、甲南病院医長を務めた後平成7年震災直後、現在の場所で内科、放射線科を開業されて16年の大ベテランです。

お気軽に健康に関する御相談をしてみたいはいかがでしょうか。

(私も実はホームドクターとしてお世話になっています。とっても親切気さくで、

注意深く診て下さる名医です。 一編集員)

診療時間 午前：9：45分～13：00分 午後：14：00分～17：00分 土曜は午前のみ

定休日 日曜、祝日、木曜

[TEL:391-3131](tel:391-3131)



★17年目を迎えました。

16年前の1月17日、本当に寒い朝でした。あの日崩れゆく建物、燃え盛る街を目の前にして何とも言えない憔悴感と行く先の不安で心が一杯になりました。あれから16年。



神戸の街並みは確実によみがかり、あの時の記憶が薄れつつあります。

当時、崩れゆくアーケードを目の前にして私たちは**安心して安全な街**がいかにか大切に心から感じたものでした。その想いと多くのお亡くなりになられた方々への心よりの追悼をこめて、今年もアトス

トリートの**讚太陽**の前で追悼式を行わせていただきました。

あの時の想いを忘れずに、**プレミアムストリート**をめざして、、、



★お正月装飾は今年も「伝統と若い感性」で。



例年どおり生田神社、加藤宮司の直筆「初詣」を中心に両サイドバナー・横断幕をひょうご**産業デザイン発掘プログラム**に応募された多数の作品の中から夙川学院短期大学、アートカレッジ神戸、神戸電子専門学校、兵庫県立大学、姫路情報システム専門学校、五校六名を優秀作品として選びました。そのイメージの斬新さを讃え1月20日センター街2丁目事務所において記念品を進呈させていただきました。おめでとうございます。来年のデザインも若い感性が楽しみです。

★毎年恒例献血推進運動、今年も大きな成果。

1月17日の月曜日、「**街ぐるみ献血推進デー**」が実施されました。例年、三宮センター街では、1, 2, 3丁目商店街振興組合とザ・ファーストの主催で、1月17日の「**震災復興メモリアル追悼式**」に併せて「**街ぐるみ献血**」を実施しており、今回も**街衆**の力を挙げて献血推進活動に取り組みました。当日は、寒さの厳しい一日ではありましたが、ザ・ファーストのメンバーを中心に呼びかけ活動と、献血への参加動員を行いました。



今回も、多くの献血者を確保することができ、寒い中みんなで頑張った甲斐がありました。

三宮センタープラザ献血ルームの所長からも「皆様お忙しいところまた、お寒い中、誠に有難うございました。おかげさまで、献血者の減少する時期に1週間を通して多くの方に御参加頂くことができました。皆様の御協力に感謝申し上げます。」とのお礼の言葉がありました。これからも「**街ぐるみ**」で献血推進活動に取り組みたいと思います。期間中の結果は以下のとおりです。 {献血者数}

受付者数	献血者数
331名	261名

★編集後記

スポーツ観戦大好きな筆者にとって今年の高校ラグビー決勝は近年まれにみる好ゲームで、観戦するすべての人々を感動させてくれました。劣勢と予想された桐蔭学園が大量リードし、東福岡が徐々に追いつき、ノーサイドの直前にトライし31-31。同高優勝というドラマチックな幕切れとなりました。ノーサイドの瞬間お互いが健闘をたたえて抱き合い観客のだれもが心に熱いものを感じました。しかしそれだけではありませんでした。この試合の主審の2歳になるお子さんが拡張性心臓疾患で海外での移植を予定されていることを知っていた両校のメンバーが試合終了後、主審にその場で渡航費用の足しにと、寄付を手渡しました。その瞬間その主審は号泣し言葉にならなかったそうです。

人に優しい人間をスポーツが育てゆく。素晴らしいですね。

あの人達は優しい、あの店が好き、あの街を歩いてみたいと言っていた**くプレミアムストリート**をめざします。